

港湾分野における技術・基準類の国際展開方策に関する研究
 ～アジア諸国等の旺盛なインフラ需要の取り込みを目指して～

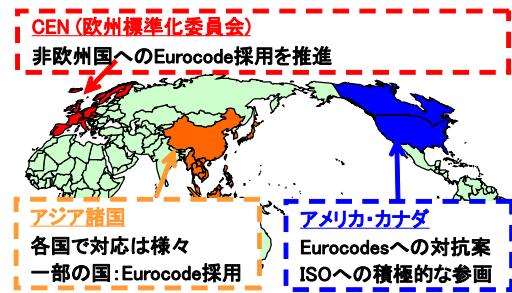
今後も旺盛なインフラ需要が見込まれているアジア諸国を含め、海外において日本企業がビジネス展開を有利に進められるようにするには官民一体となったトップセールスに加え、国土交通省成長戦略にもある、日本の規格を国際統一規格とするための取組や投資対象国におけるスタンダードの獲得のための取組等を推進する必要がある。

このうち、本研究では、投資対象国におけるスタンダード獲得のための方策の確立を目的として、アジア諸国等の発展途上国における技術・基準類（調査、設計、施工、維持管理）に関する調査分析、欧米の主要な港湾設計基準との比較分析を通じ、日本の港湾分野における技術・基準類をベースとして、国内の技術・基準類を相手国のニーズに応じてカスタムメイドできる手法に関して研究を行うものである。これにより、日本ベースの技術・基準類のさらなる国際展開を目指すものである。

研究内容

現状の課題

- 日本基準のプレゼンス（地位）の低下
 - 日本基準のガラパゴス化
 - ODA 予算のシェア低下による日本基準の利用頻度の低下
 - ユーロコード（欧州規格）等の普及による日本企業のビジネス機会喪失の懸念
- 日本基準の地位低下により、日本企業の海外における技術競争力の低下への懸念



研究フロー

①各国の港湾整備・管理に関する法体系、基準体系、技術基準類等に関する調査・分析

②欧米の主要な設計基準との比較・分析
 （国際展開戦略、国内基準の長所短所）

③港湾分野における技術・基準類の国際展開方策に関する検討

◎ケーススタディ
 ・相手国を絞り、二国間の協働作業による具体的検討の実施

港湾分野における国内技術・基準類の国際展開に必要なカスタムメイド手法の確立

